

24日 水曜

マルコ



ず来て、すべてを立て直すのです。それではどうして、人の子について、多くの苦しみを受け、蔑まれると書いてあるのですか。9:13 わたしはあなたがたに言います。エリヤはもう来ています。そして人々は、彼について書かれているとおり、彼に好き勝手なことをしました。」

「神の国が力を持って到来」というのは、再臨のことであるなら時期的には合いません。それは原語的な意味から、神の支配ということですが、すなわち十字架と復活を表していると考えられます。

続いてイエス様は弟子たちの前で栄光の姿に変わり、エリヤとモーセと共に語りました。二人はそれぞれ預言と律法の中心人物で、旧約の成就について語られていたのだと思われまゝ。ペテロはおどろいて意味のないことを口走ってしまいました。彼のすべきことは「彼（イエス）の言うことを聞」くことでした。私たちもどうしたら良いのか分らなくなるときがあるでしょう。そのときはイエス様のことをばを聞くことです。鍵はみことばであり、祈りです。

9:2 それから六日目に、イエスはペテロとヤコブとヨハネだけを連れて、高い山に登られた。すると、彼らの目の前でその御姿が変わった。

9:3 その衣は非常に白く輝き、この世の職人には、とてもないほどの白さであった。9:4 また、エリヤがモーセとともに彼らの前に現れ、イエスと語り合っていた。

9:5 ペテロがイエスに言った。「先生。私たちがここにすることは素晴らしいことです。幕屋を三つ造りましょう。あなたのために一つ、モーセのために一つ、エリヤのために一つ。」

9:6 ペテロは、何を言ったらよいのか分からなかった。彼らは恐怖に打たれていた。

9:7 そのとき、雲がわき起こって彼らをおおい、雲の中から声がした。「これはわたしの愛する子。彼の言うことを聞け。」

9:8 彼らが急いであたりを見回すと、自分たちと一緒にいるのはイエスだけで、もはやだれも見えなかった。

9:9 さて、山を下りながら、イエスは弟子たちに、人の子が死人の中からよみがえる時までは、今見たことをだれにも話してはならない、と命じられた。

9:10 彼らはこのことばを胸に納め、死人の中からよみがえると言われたのはどういう意味か、互いに論じ合った。

9:11 また弟子たちは、イエスに尋ねた。「なぜ、律法学者たちは、まずエリヤが来るはずだと言っているのですか。」

9:12 イエスは彼らに言われた。「エリヤがま

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

